

# 札幌 シネマフロンティア



所在地：北海道札幌市中央区北5条西2丁目  
JRタワー札幌ステラプレイス7階  
収容人数：12館構成、総座席数2,705席  
運営：札幌シネマフロンティア(株)  
開館：平成15年2月  
照明リニューアル：平成21年8月

JRタワー札幌ステラプレイス7階に位置する複合施設型シネマ複合体「札幌シネマフロンティア」。照明は共用部のダウンライトの光源に使用されていた白熱灯を、すべてLED電球一般電球形に更新。大幅な省エネ、CO<sub>2</sub>削減を実現し、環境保全に貢献されています。

日本で初めて大手映画会社3社が共同経営した複合施設型シネマ複合体

平成15年2月に開館した「札幌シネマフロンティア」は、東宝、松竹、ティ・ジョイ(東映)の大手映画会社3社が、日本で初めて共同経営した複合施設型シネマ複合体です。1番スクリーンから12番スクリーンの計12シアターで構成されており、全てのシアターがDTS、5.1chサラウンドを実現する映写・音響システムを採用。3番スクリーン(259席)と8番スクリーン(455席)シアターにおいては、フィルム映像ではなくデジタルで映写を行うDLPシステムが使用されています。総座席数2,705席、JR札幌駅・地下鉄さっぽろ駅に直結した利便性のよさも後押しして、観客数月平均約100,000人と高い人気を誇っています。

共用部の白熱灯ダウンライトをLED電球一般電球形に更新し、大幅な省エネ・CO<sub>2</sub>を削減

照明は、共用部であるエントランスホールをはじめ、券売場(チケットボックス)、待合室、売店(コンセッション)、シアター前廊下などに、これまでは60W・40W白熱灯ダウンライトが使用されていましたが、この共用部のダウンライトに使用していた光源の白熱灯を、地球温暖化防止を配慮して、すべて[イー・コア]LED電球一般電球形に更新。これにより、同等以上の明るさと自然な見え方で心地よい雰囲気確保しながら、小電力で省エネルギー化(従来比約10万円/月)やCO<sub>2</sub>排出量の削減化、それにLED電球の長寿命(40000時間)によるランプ交換の手間の軽減化が実現しています。

また、放射熱の少ないLED照明の採用により、従来の夏期における混雑からの熱負荷と白熱灯からの熱負荷で冷房が満足でなかったこれまでとは違って、室内温度上昇の抑制効果も発揮され、快適な室内環境が維持されるようになりました。



ロビー・エントランス周辺の照明 ダウンライトに使用されていた白熱灯をLED電球に更新、同等以上の明るさを確保しつつ、省エネを実現



ダウンライトの光源をLED電球に更新したエスカレーター周り



LED電球に更新し、明るく、活気ある雰囲気の飲食売店



LED電球に更新したシアター前廊下(1)



シアター前廊下(2)のLED電球による照明



ダウンライトを用いたLED電球によるエレベーターホールの照明

## 主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	灯数	備考
共用部	LED電球一般電球形	LEL-AW4L	330	LED消費電力：4.3W